

令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 1年生は目標値(△1.2)を上回っている。
- ・ 2年生は目標値(▽9.8)を下回っている。
- ・ 3年生は目標値(▽1.5)を下回っている。

(2) 課題

- ・ 1年生：多くの分野で目標値を下回っている。特に大地のつくり(▽9.3)の分野で目標値を大きく下回っている。
- ・ 2年生：多くの分野で目標値を下回っている。特に地層(▽8.7)や植物の分類(▽8.7)、力の性質(▽8.5)の分野で目標値を大きく下回っている。
- ・ 3年生：多くの分野で目標値を下回っている。特に、電磁気(▽10～14)、気象の観測(▽12.2)の分野で目標値を大きく下回っている。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	全体的に目標値を下回っている。大地のつくりと変化、電気の利用の分野が低い。	/	/
第2学年	全体的に目標値を下回っている。力の性質、地層の分野が低い。	全体的に目標値を上回っている。電気の利用、水溶液の性質の分野が低い。 (第1学年時)	/
第3学年	全体的に目標値を下回っている。気象の分野が低い。また、生物や電気の分野がやや低い。	全体的に目標値を下回っている。粒子、生命、地球の分野に特に課題が多い。基礎的な内容の学習から課題がある。 (第2学年時)	全体的に目標値を上回っている。動植物のからだのつくりとはたらき、生物と環境、水溶液の性質の分野がやや低い。 (第1学年時)

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。 (▽4.9)	目標値をやや下回っている。 (▽1.3)	/

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。 (▽3.8)	目標値をやや下回っている。 (▽1.7)	/

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。 (▽8.7)	目標値を下回っている。 (▽3.9)	

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・実験器具の仕組みや理屈を理解させ、操作もできるように、器具に触れさせる機会を増やす。観点別問題を解いて強化する。 ・タブレット PC に触れる機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の目的から結果を論理的に推測し、結果・考察から実験・観察の検証が行えるようにし、習得した知識をより深い学びに繋がられるようにする。 	

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・発問やプリント等(小テストやそのやり直しも含む)で知識の定着を図る。 ・基礎的・基本的な器具の操作に触れる機会を増やし慣れさせるようにする。 	<p>予想→準備→実験→結果まとめ→考察の流れを実験で意識させて行うようにする。</p>	

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年次の知識を踏まえた課題の設定や定期テストの工夫をする。 ・発問やプリント等(小テストやそのやり直しも含む)で知識の定着を図る。 ・基礎的・基本的な器具の操作に触れる機会を増やし慣れさせるようにする。 	<p>予想→準備→実験→結果まとめ→考察の流れを実験で意識させて行うようにする。</p>	